WN06690 施工説明書 2007.02

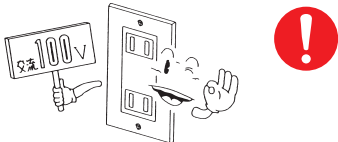
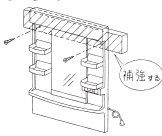
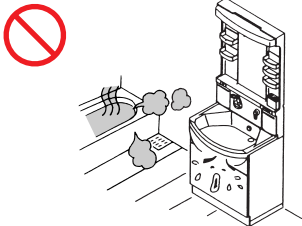
TOTO

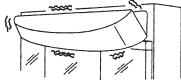
化粧鏡

LMA600S／600SH／604SH・750S／750SH／754SH（一面鏡） LMA601SH（二面鏡）
LMA752SH／753SH／755SH（三面鏡） LCA601／751（化粧ケース）

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
⚠警告	この表示を無視して誤った取り付けをすると、 ●死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り付けをすると、 ●人が損害を負う可能性が想定される内容 ●物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 本体の取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠警告

電気配線工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者」が行う

火災や感電の原因となります。

浴室など湿気の多い場所へ設置しない

漏電により感電するおそれがあります。

電源は交流100Vを使用する

交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因となります。

壁固定ねじ取付位置に木さんを入れて補強する

キャビネットが落下しケガをするおそれがあります。

電気コードを傷付けないでください

電気コードを傷付けると漏電および火災のおそれがあります。
特に壁固定の際は気を付けてください。

⚠注意

照明カバーは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。

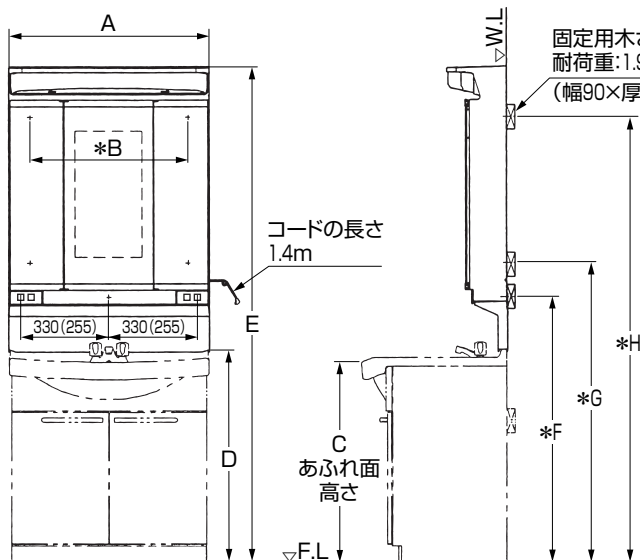
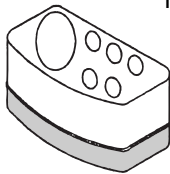
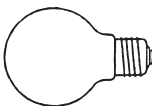
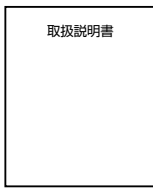
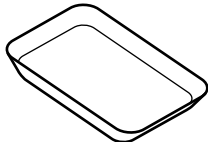
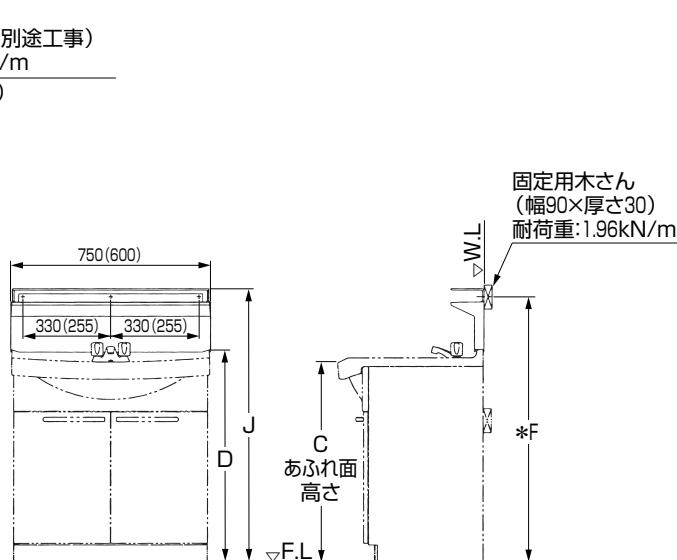
工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認する

使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因となります。

☆工事寸法

- 特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。
- 図は化粧鏡LMA753SH（三面鏡タイプ）と、化粧ケースLCA751です。他の機種は、外観形状が異なります。
- （　）寸法は600サイズを示します。

＊印の寸法は木ねじ位置を示します。

製品品番	A	B	C	D	E	F	G	H	J
LMA600S型・600SH型・601SH型	600	440	750	796	1850	995	1125	1665	—
			800	846	1900	1045	1175	1715	—
LMA604SH型	600	410	750	796	1800	995	1235	1645	—
LMA750S型・750SH型・752SH型・753SH型	750	590	750	796	1850	995	1125	1665	—
			800	846	1900	1045	1175	1715	—
LMA754SH型	750	410	750	796	1800	995	1235	1645	—
LMA755SH型	750	590	800	846	1800	1045	1175	1650	—
LCA601型	—	—	750	796	—	995	—	—	1030
	—	—	800	846	—	1045	—	—	1080
LCA751型	—	—	750	796	—	995	—	—	1030
	—	—	800	846	—	1045	—	—	1080

化粧鏡LMA753SH（三面鏡タイプ）

化粧ケースLCA751

☆付属部品明細

歯ブラシ立て	壁固定用木ねじ	化粧キャップ	ボールランプ
1セット	LMAの場合…7本 LCAの場合…3本	LMAの場合…4個 LCAの場合…3個	2個 ※LMA604SH・754SHのみ
ガードバー	**ブッシュ**	**取扱説明書**	**トレイ**
1本 ※LCAのみ	2個 ※LCAのみ	1冊 取扱説明書	※LMA604SH，754SH， LCAは除く

☆設置上の注意

- 漏電のおそれがありますので、湿気の多い場所には設置しないでください。
  特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

☆取付前の準備

- 化粧鏡の壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。
  （固定用木さんを入れられない場合は、設置壁の前面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。）

裏面に続く

☆化粧鏡の取付手順（番号順に取り付けてください。）

※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。
（プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

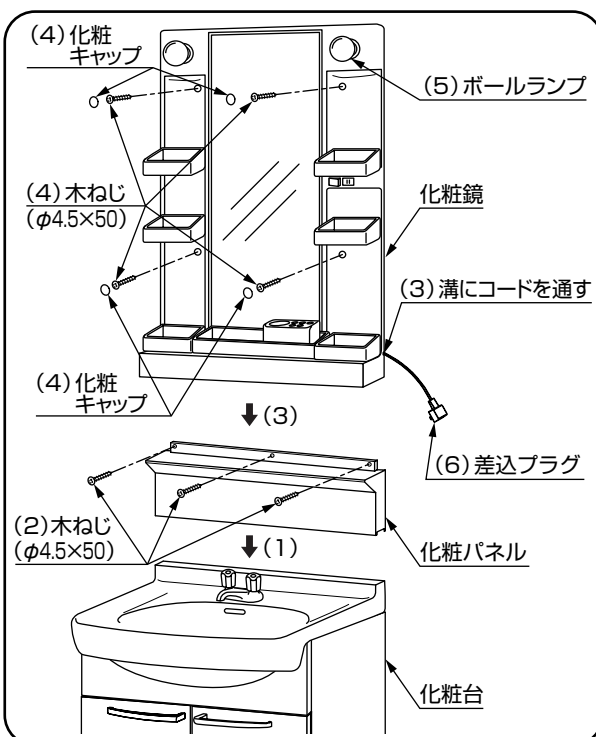
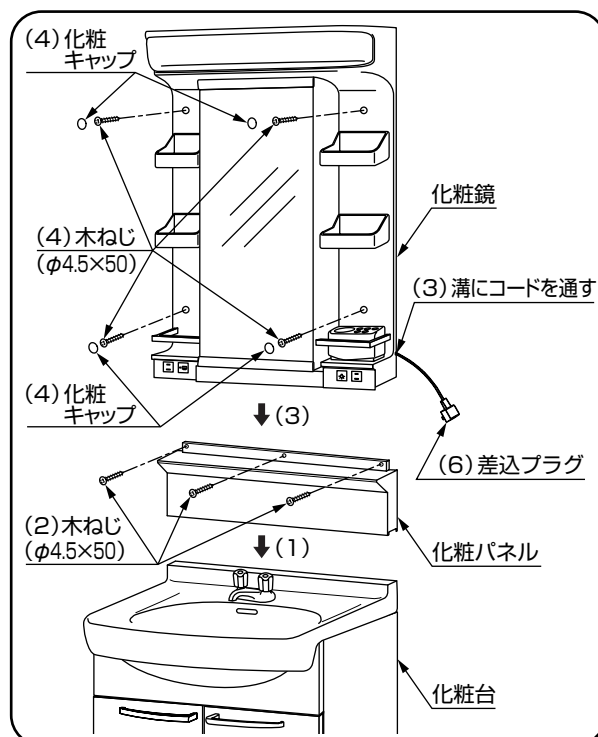
（1）化粧パネルを化粧台の上にのせて左右の位置合わせをしてください。

（2）化粧パネルを付属の木ねじ（3本）で所定の位置に確実に固定してください。
※取付壁面がゆがんでいる場合は、木ねじのねじ込代を調節しながらねじ込んでください。
壁とのすき間が大きい場合は、化粧パネルの裏面に当て木をしてください。
※壁固定は所定の固定穴を使用してください。

（3）化粧鏡を化粧パネルの上にのせて左右の位置合わせをしてください。
その際、電源コードを本体側面の溝から外に出しておいてください。

（4）化粧鏡を付属の木ねじ（4本）で所定の位置に確実に固定した後、キャップを取り付けてください。
※取付壁面がゆがんでいる場合は、鏡がゆがむことがありますのでゆがまないよう、木ねじのねじ込代を調節しながらねじ込んでください。
壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面に当て木をしてください。
※壁固定は所定の固定穴を使用してください。
電源コードとねじが接触しないよう、またコードをはさまないように施工してください。

（5）付属のボールランプを取り付けてください。（LMA604SH・754SH）

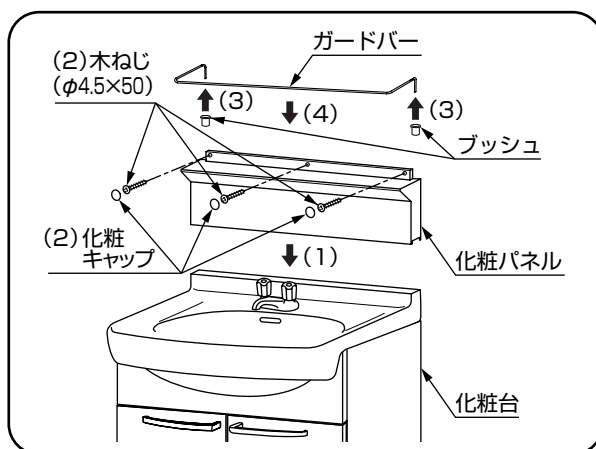
（6）差込プラグをコンセントに接続してください。その際コードを束ねたまま接続しないでください。
※プラグ差込み方向によってはコンセントの極性が逆になりますので電源コードの黒ラインが入っている側をコンセントのアース側（長穴側）に接続してください。

☆化粧ケースの取付手順（番号順に取り付けてください。）

※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。

（1）化粧パネルを化粧台の上にのせて左右の位置合わせをしてください。

（2）化粧パネルを付属の木ねじ（3本）で所定の位置に確実に固定した後、キャップを取り付けてください。
※取付壁面がゆがんでいる場合は、木ねじのねじ込代を調節しながらねじ込んでください。
壁とのすき間が大きい場合は、化粧パネルの裏面に当て木をしてください。
※壁固定は所定の固定穴を使用してください。

（3）ガードバーにブッシュを取り付けてください。
※ブッシュはカット面が壁側になるようにして、ガードバーの半ばまで差し込んでください。

（4）ガードバーを化粧パネルに差し込んでください。
※ガードバーを差し込んだ後、ブッシュを化粧パネルに確実に差し込んでください。

☆取付完了後の確認と清掃

● 製品が壁に確実に固定されていることを確認してください。

● 照明スイッチを入れて照明が点灯することを確認してください。

● 袖鏡が確実に閉まるか確認してください。
閉まらない場合は、右図のように上下のキャッチの高さを調整してください。

● くもり止めヒータースイッチを入れて、スイッチ内のランプが点灯することを確認してください。また、ランプが点灯し約2～3分で鏡の表面が温かくなることを確認してください。

● コンセントに電気カミソリなどを差し込み、通電することを確認してください。

● 製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。